

ゼロから学んでおきたい
日本人と『論語』

「近代日本経済の父」と言われる渋沢栄一の著書『論語と算盤』が注目を集めている。NHK大河ドラマ「青天を衝け」が火付け役になった。難解なイメージがある『論語』だが、実は日本では古くから人々が「心のよりどころ」としてきた。中国で生まれた『論語』がなぜこれほどまでに日本人に受け入れられたのか。文学部中国文学科の石本道明教授(中国古典学)と、青木洋司准教授(中国哲学)がひもとく。

『論語』とは孔子(紀元前551?〜紀元前479)とその弟子たちの言行を記録した書物だ。奈良時代に編纂された『古事記』『日本書紀』には既に『論語』の記述がある。飛鳥時代に誕生した十七条憲法もその教えは息づいている。身分の高い一部の人だけに限られていた『論語』が、爆発的に広がったのが江戸時代だ。「士農工商」全ての階層の人たちが藩校や寺子屋で『論語』を学び始めた。『論語』を分かりやすく解説した「訓蒙書」も数多く登場する。

文明開化の波が押し寄せた明治時代も『論語』は人々の心の支えになり続ける。渋沢もまた、『論語』の教えを実業の世界におくことによって、利潤追求だけが重視されることを防ごうとした。

渋沢が『論語』を掲げた背景について、青木准教授は「渋沢は『実践実行の人』、現実主義者だった。実学について書かれている『論語』と親和性が高かった」と解説する。

日本人は『論語』に独自の解釈を加えてきた。石本教授は「中国から伝来したものをそのまま受け入れるのではなく、自分たちにとって価値があると感じたものを選び取ってきたことに意義がある」と評価する。

『論語』の教えは、コロナ禍で先行きが見通しにくくなった今、その重みを増している。

4・5面に
関連記事



みはるかすもの

第一生命保険「第34回サラリーマン川柳コンクール」の結果が5月に発表され、「会社へは／来るなと上司／行けと妻」(なかじ)が6万2千余りの中から投票で1位に輝いた。コロナ禍で生じた職場と家庭との新たな板挟みへの苦悩が見える▼ほかにも「お父さん／マスクも会話も／よくずれる」(第7位、さごじょう)、「どこにある／ステイホームで／俺の場所」(第15位、するめのいのち)と父親たちは肩身の狭い様子▼自信を失いそうな世の「お父さん」たちに一筋の光となりそうなアンケート結果もある。シェーピング関連製品大手のシック・ジャパンが40歳〜59歳の父親世代524人、13歳〜22歳の息子世代522人を対象に、父子の双方からみた「父親像」の調査だ▼父親には「息子からどう思われているか」、息子には「父親をどう思っているか」を尋ねたこの調査。内面や見た目、行動で父親の自己評価以上に息子が評価していることがわかったという▼特に、「気前がいい」で父親23・9%に対し息子46・9%と20ポイント以上、「仕事への尊敬」「家族を大切にしている」など多くの項目で10ポイント以上の差がつく。「家事に積極的」だけが父親世代、息子世代ともに40%を下回る結果で、「俺の場所」確保へ父親たちの宿題といったところだろうか▼6月20日は「父の日」。コロナ禍で家族で過ごす時間が多かった今、「おやじの背中」はどのように見えているだろうか。本学学生たちの声はいかに。

令和2年度卒業生進路業種別内訳

サービス 25%

商社・小売 21%

教育 12%

公務員 7%

メーカー 6%

金融 6%

マスコミ 3%

建設 4%

不動産 4%

神職 4%

非営利 4%

運輸・通信 4%

令和3年3月卒の国学院大学卒業生の就職率は、93・8%と昨年から2・5ポイント低下した。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で雇用環境が悪化。全国的な大卒有効求人倍率の低下幅から比べると、本学の就職状況は限定的ながら影響を受けた。公務員は国家・地方合わせ142人と前年度から21人の増加。教育関係では、小、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援

学校の教員と保育士を合わせ234人とほぼ前年並み。各自自治体による教員採用試験に合格し、公立の小、中学校、高校の正規採用となった新卒業生は88人だった。神社関係では、152人の神職資格取得者のうち、105人が神社界(奉仕先神社が実家も含む)に進んだ。

6月1日に面接解禁となった令和4年3月卒採用について、藤形正俊学生事務部長は「全体の有効求人倍率は横ばいだが、多くの学生が希望する大企業では大幅に下がるため注意が必要だ。オンラインを活用した採用試験も活発で、対面とは異なる面接スキルなどが求められる。インターンシップ経由での早期採用も、より一層加速している。就職活動では目標とする企業を早めに見つけることが重要で、本学は企業セミナーや学内企業説明会など企業との接点を多く設けている。1、2年次に参加できるものもあり、積極的に活用してほしい。4年生でスタートが遅れている学生は、キャリアサポート課に相談し、サポートを活用してほしい。3月末に内定を得るケースもあり、最後まで諦めないことが重要になる」と話す。

令和2年度卒業生就職率は93・8%

令和2年度

決算

学校法人国学院大学の令和2年度決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月27日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承された。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、遠隔授業、在宅勤務の開始など、学生、生徒、園児はもとより家計支持者、教職員ら全ての構成員が、新しい生活様式への転換を求められる年となった。本法人では文部科学省が掲げる「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の通り、感染症対策を十分に講じつつも、学生、生徒、園児の修学機会を確保すべく、さまざまな取り組みに努めた。

当初予定していた「21世紀研究教育計画（第4次）」に基づく事業計画の一部、新型コロナウイルスの影響により見直さざるを得ない状況となったが、学生、生徒、園児の修学機会を確保するとともに、目標（国学院ブランドの確立と強化）の実現と中長期的財政基盤の安定に努めた結果、基本金組入前当年度収支差額は591百万円の収入超過となり、収支均衡のとれた決算となった。

詳細についてはホームページをご覧ください。

【財務部経理課】

資金収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:百万円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	増減	科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金収入	13,211	13,306	△95	人件費支出	9,954	10,032	△78
手数料収入	712	625	87	教育研究経費支出	4,717	4,450	267
寄付金収入	377	343	34	管理経費支出	1,280	1,136	144
補助金収入	2,660	2,685	△25	借入金等利息支出	12	11	1
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	770	770	0
付随事業・収益事業収入	73	86	△13	施設関係支出	6,384	6,338	46
受取利息・配当金収入	173	281	△108	設備関係支出	564	664	△100
雑収入	589	739	△150	資産運用支出	3,947	3,938	9
借入金等収入	586	585	1	その他の支出	630	574	56
前受金収入	2,453	2,645	△192	予備費	449		449
その他の収入	8,110	8,343	△233	資金支出調整勘定	△432	△408	△24
資金収入調整勘定	△2,996	△3,197	201	当年度支出合計	28,275	27,507	768
当年度収入合計	25,948	26,441	△493	翌年度繰越支払資金	8,009	9,271	△1,262
前年度繰越支払資金	10,336	10,336	0				
収入の部合計	36,284	36,778	△494	支出の部合計	36,284	36,778	△494

事業活動収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:百万円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	増減	特別収支	科目	予算	決算	増減	
		学生生徒等納付金	13,211	13,306	△95		事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		手数料	712	625	87			その他の特別収入	83	91	△8
		寄付金	351	307	44			特別収入計	83	91	△8
		経常費等補助金	2,641	2,637	4			事業活動支出の部	資産処分差額	45	37
		付随事業収入	73	86	△13		その他の特別支出		0	0	0
		雑収入	588	754	△166		特別支出計		45	37	8
		教育活動収入計	17,576	17,715	△139		特別収支差額		38	54	△16
	事業活動支出の部	人件費	10,027	10,016	11	[予備費]	449		449		
		教育研究経費	6,478	6,190	288	基本金組入前当年度収支差額	△595	591	△1,186		
管理経費		1,416	1,269	147	基本金組入額合計	△6,202	*△7,017	815			
教育活動支出計		17,921	17,475	446	当年度収支差額	△6,797	△6,426	△371			
教育活動収支差額			△345	240	△585	前年度繰越収支差額	△7,848	△5,100	△2,748		
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	173	304	△131	(参考)	基本金取崩額	0	0	0	
		その他の教育活動外収入	0	6	△6		翌年度繰越収支差額	△14,645	△11,526	△3,119	
		教育活動外収入計	173	310	△137						
	事業活動支出の部	借入金等利息	12	11	1						
		その他の教育活動外支出	0	2	△2						
		教育活動外支出計	12	13	△1						
教育活動外収支差額			161	297	△136	事業活動収入計	17,832	18,117	△285		
経常収支差額			△184	537	△721	事業活動支出計	18,427	17,526	901		

※第1号基本金 | 67億1000万円 教育の質向上のために取得した固定資産の価額
第2号基本金 | 3億円 教育の質向上のために将来取得する固定資産取得に充てるもの
第3号基本金 | 700万円 基金として継続的に保持しかつ運用する資産となるもの

貸借対照表

令和3年3月31日

(単位:百万円)

資産の部				負債および純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	117,270	116,040	1,230	負債総額	13,556	13,708	△152
有形固定資産	68,541	63,469	5,072	基本金総額	125,245	118,228	7,017
特定資産	45,852	49,719	△3,867	第1号基本金	106,480	99,770	6,710
その他の固定資産	2,877	2,852	25	第2号基本金	2,500	2,200	300
流動資産	10,005	10,796	△791	第3号基本金	15,214	15,207	7
				第4号基本金	1,051	1,051	0
				繰越収支差額	△11,526	△5,100	△6,426
				純資産の部合計	113,719	113,128	591
資産の部合計	127,275	126,836	439	負債および純資産の部合計	127,275	126,836	439



国学院大学は、令和2年度をもって退職した8人の元教授に、4月1日付で名誉教授の称号を贈ることとした。対象者は次の通り。授与式は6月22日に渋谷キャンパスで実施する予定。

◆文学部 赤井益久氏、岡田哲氏、根岸茂夫氏、野呂健氏
◆法学部 村和男氏
◆神道文化学部 茂木栄氏
◆人間開発学部 神長美津子氏、一正孝氏

8氏に名誉教授の称号を授与

成績優秀者奨学生表彰
57人を決定

国学院大学は、令和3年度の成績優秀者奨学生57人を決定した。同制度は前年度、特に優れた学業成績を収めた学生を表彰し、さらに能力を伸ばし勉学を奨励する制度で、2年生以上が対象となる。

対象となった学生への表彰式は、新型コロナウイルスの感染状況を受け実施時期を検討している。

株式会社マイナビと協定を締結
キャリア教育等で連携・協力

学校法人国学院大学と株式会社マイナビ（東京都千代田区、中川信行代表取締役社長執行役員）は5月24日、連携・協力に関する協定を締結した。今回締結した協定は、双方の連携協力によって本学学生のキャリア形成と就職支援サービスの向上を目的とする。

今後、協定に基づき同社による正課授業内でのキャリア教育の実施やデータに基づいた就職支援コンテンツの開発など産学連携の具体的な取り組みが進められる。

高校教員対象入学試験説明会
次年度の入試概要を説明

高校の進路指導担当教員らを対象に本学の入試制度や教育の特徴などを説明する入試説明会が5月28日、オンラインで開催された。

当日は東京都をはじめ各地に緊急事態宣言が発令されていることなどを考慮し、動画のオンデマンド配信による説明とビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」を用いた個別相談を実施した＝写真。

配信された動画で針本正行学長は「直接本学の教育環境をご覧いただかず残念だが、オンラインとしたことで広く全国から参加いただいた。本学の入学試験制度のご理解と受験生への進路指導の一助となれば」とあいさつした。令和3年度入試の実績と4年度入試制度の説明なども動画で説明が行われた。

設置認可申請中の観光学部（仮称）についても、新学部設置準備室長の西村幸夫教授が説明を行い「観光という言葉に立ち返り、地域の光を見る、地域の光を見せるということに主軸を置く学部を目指している。少子高齢化や経済衰退などで地域が疲弊するなか、地域の社会や環境を守りながら経済を支えていく観光まちづくりという概念を広げていきたい。文理の垣根を超え、理論と実践の両面から学び、多様な側面から地域に貢献する人材を育成したい」と学部の目指す姿を述べた。



学校法人国学院大学人事
【退任】

◎評議員▷琴陵容世 令和3年3月31日付

教職員人事

【採用】

◎研究開発推進機構◆助教（特別専任）▷比企貴之 令和3年6月1日付

たまプラーザ学食 ヒルトップ リニューアルオープン

たまプラーザキャンパス若木21の学食「ヒルトップ」が6月1日に内装、設備などを刷新しリニューアルオープンした。当面は席に仕切りを設けるなど、新型コロナウイルスの感染防止策を講じての営業となる。

運営する株式会社つくばの坂入益社長は、「コロナ禍だからこそ、安価でボリューム、栄養のあるものを提供したい。鉄板を使うメニューは少し時間がかかるが、熱々で味だけでなく音でも楽しめる。学生の声を聞き、メニューも入れ替えていきたい」と話す。

オープン直後に利用した男子学生（健体1）は「内装がきれいので景色も良く開放感がある。日替わりランチを食べたが、値段も安く、味もボリュームも満足。一人暮らしをしている学生の味方のような学食だなと思った」と笑顔を見せた。

また、若木育成会からの支援を受け「生活応援キャンペーン」を実施。前期中は本学学生に限って一部メニューが100円引きとなる（6面に関連記事）。



博物館 コロナで中断の企画展 新収蔵資料も加え再開展

国学院大学博物館では7月3日(土)まで企画展「特別列品『神の新たな物語－熊野と八幡の縁起－』」を開催している。同展は、昨年3月に開催したものの、新型コロナウイルスの感染拡大により開期途中で閉幕となっていた。今回は本学図書館の新収蔵資料「かみよ物語」の展示など、一部内容を変更し再開展となった。

会場では、本学図書館が所蔵する熊野の神々や八幡神（応神天皇）とその母である神功皇后をめぐる縁起絵巻の数々を展示し、物語から中世の神々の姿を見ていくことができる。



若木育成会 支部の集い 今年もコロナ禍の影響鮮明に

例年、5月下旬から8月にかけて全国56支部で開催する若木育成会支部の集いは、6月14日時点で全体の半数超となる30支部で中止になるなど、昨年に続き新型コロナウイルスの影響を受けている。

支部の集いは、例年、各支部の保護者に加え本学教職員も出席。大学の現況や教学、進路・就職、学生生活などについて説明するほか、成績などに関する保護者との個別相談に応じている。校友課では中止とした支部の保護者を対象とした電話、ビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」での個別相談の実施を検討している。

一方、当初の予定通り実施する支部では感染予防策を講じて開催する。5月30日には皮切りとなる茨城県支部の集いが行われた。

学生相談室に聞く

大切なのは 「悩みを一人で抱え込まない」こと

学生が抱える悩みは、学業や友人関係、就職への漠然とした不安など多様だ。コロナ禍という要因が加わり、健康不安や家で過ごす時間が増えたことによる家族関係の悩みなどが増えているという。さらに、誰かに悩みを相談する機会も減り、孤独・孤立化に陥りやすいといった問題もあるという。

そうした状況を踏まえ学生相談室は「二人で悩みを抱え込まず、ぜひ『相談』という第一歩を踏み出してほしい」と呼びかける。相談内容の秘密は厳守される（生命、身体の安全に関わる場合などはこの限りではない）。カウンセラーと話し合い、「解決策と一緒に探る中で問題解決の糸口を見いだせるという体験、学生が主体的に考え、困難を乗り越えたという経験は、後々も学生を支える自信に繋がるだろう」と話す。

春からは電話での相談にも応じている。心身の健康を図る機会としてインストラクターを招きオンラインでのヨガ講座などグループワークも開催。人間の体には不安定な状態に置かれても心身のバランスを保とうという機能があり、身体の側からメンタル面にアプローチするのも一つのやり方だと説く。こうしたプログラムの通して、セルフケアの大切さを知る機会にしてほしいという。

相談には、臨床心理士もしくは公認心理師の資格を持ち、専門の訓練を積んだ経験豊かなカウンセラーが当たっている。また、精神科医による「こころの健康相談」も毎月2回開いている。相談内容によっては、適切な学内の他部門や医療機関を含む学外の機関などに橋渡しをし、問題解決に繋がれるように努めている。コロナ禍にあっても、学生相談室は「学生が少しでも実りのある学生生活を送れるよう支援していきたい」としている。

進学、新年度といった環境変化や、コロナ禍の長期化で各大学とも悩みを抱えたり、学生生活に戸惑ったりする学生が増加しているとされる。通学機会が減ったことで仲間の様子が分からず、不安や焦りを感じている学生は少なくないという。国学院大学ではそうした学生のさまざまな相談に学生相談室が応じている。学生に関わることであれば、保護者も相談が可能だ。

新型コロナウイルスの感染抑制のため、授業実施形態も影響を受ける状況が続いている。大学に限らず、社会全体が異例の対応を迫られている中、どういう点に留意して心身の健康を維持すべきかを学生相談室に聞いた。

春からは電話での相談にも応じている。心身の健康を図る機会としてインストラクターを招きオンラインでのヨガ講座などグループワークも開催。人間の体には不安定な状態に置かれても心身のバランスを保とうという機能があり、身体の側からメンタル面にアプローチするのも一つのやり方だと説く。こうしたプログラムの通して、セルフケアの大切さを知る機会にしてほしいという。



学問ノ道 第34回

荷田春満が開いた学問の道 ―皇典講究所・国学院の源流―

荷田春満（かたのあすまろ）
（1669～1736）

という人の人生をたどること。これが国学の発端を知ることに必要と考えている。京都市伏見区の東丸神社。現在、春満は洛南の学問の神として知られている。私が初めて東丸神社を参拝したのは国学院大学に入学した1年生の夏休みであったから、もう35年近くもたつ。国学の四大人の一人で、学問の神であるくらいに知識しかなく、「勉強させてください」と神前で額ずいたことを覚えている。今、学問、それも国学の研究を生業としようとはその時、思いもしなかったのだが。

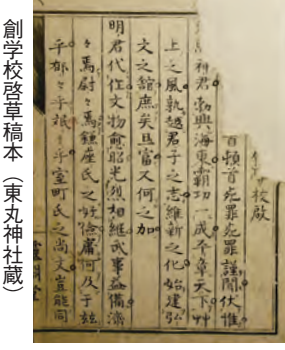
春満は長い間、その学問の実態が知られていないのにもかわらず、「国学の四大人」の鼻祖として尊崇の対象になってきた。伴蒿蹊の『近世畸人伝』（寛政2（1790）年）に記述された、

死の直前に著述を全て焼いた、というまことしやかな伝説が百数十年間にわたって信じられてきた。しかし、「国学」の名を冠する本学に関係する人々が、春満の学問の全容解明への扉を開くことになる。皇典講究所を卒業し、幹事・常務理事を歴任した高山昇が、大正13（1924）年に官幣大社稲荷神社（現、伏見稲荷大社）宮司に就任すると、河野省三や岩橋小弥太など、本学の教員を編集委員に据え、春満の生家である東羽倉家に残されている著述・聞書類を編集して『荷田全集』が刊行された。これは、四大人の全集のうち最も遅い刊行であった。それ以来、春満の学問の研究は、全集に依拠して行われていたが、他の三大人と比較すればいささか寂しいものであった。また、春満の学問

の価値を過小評価し、「国学は賀茂真淵からはじまる」と主張した三宅清の論が第二次大戦後、定説に近い位置を占めたことも、春満にとっては幸いではなかった。

しかし、国学院大学創立120周年記念事業として始められた『新編 荷田春満全集』の編纂・刊行は、長い間の停滞を打破する大きな画期となった。全12巻の刊行により、春満の学問の全体像を初めて体系的に捉えることが可能になってきた。そこで明らかにしたことは間違いない、真淵・宣長と続く国学の道は春満によって開拓されたということである。国学の学校を作ろうとした春満の意志は、創立140年を迎えようとする本学へと確実に受け継がれている。そう確信する私たちの春満探究の道りはまだ続いている。

神道文化学部教授 松本久史



創学校啓草稿本（東丸神社蔵）



荷田春満肖像（東丸神社蔵）

古くから人々の心の支えに 現代に通じる道德観

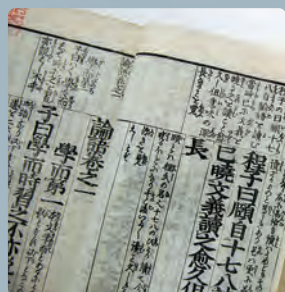


ゼロから学んでおきたい「日本人と『論語』」

「近代日本経済の父」と言われる渋沢栄一の『論語と算盤』が注目を集めている。中国で生まれた『論語』がなぜこれほどまでに日本人に受け入れられたのか。文学部中国文学科の石本道明教授（写真左）と、青木洋司准教授（同右）がひもとく。

2 学問の基礎だった 江戸時代の『論語』

『論語』が大きな広がりを見せたのが江戸時代だ。青木准教授は「爆発的に読む人が増え、出版が盛んになった。江戸時代で売れた本の中でトップ5に入るだろう」とみる。青木准教授らは現在、江戸時代に武士や庶民がどのようにして『論語』を学んだかといった研究を進めている。徳川幕府は朱子学を推奨し、代表的な書物である『四書五経』が注目される。『論語』はその中でも重要な書物、学問の入り口として普及していく。これまで身分の高い人など一部の書物だった『論語』は、武士、商人、農民すべての階層が学ぶ時代に入った。



読み方や解説が書かれた江戸時代の訓蒙書

例えば戦国時代では『論語』は知る武將は少数だった。加藤清正が前田利家から『論語』を勧められ、存在を知らず驚いたというエピソードもあるほどだ。だが、江戸時代になると武士は教養を積むことを求められ、教育機関である「藩校」で『論語』を学んだ。一方、庶民は「寺子屋」で教養を身に着けた。このほか、全国各地にあった「塾」でも『論語』は取り入れられた。そして『論語』を分かりやすく解説した数多くの

「訓蒙書」が登場する。石本教授は「当時の広告を見ると、訓蒙書のターゲットがよくわかる」と話す。昼間忙しい商人や農民向けに、藩校の先生用の「虎の巻」までバラエティー豊かな。今でいう学習参考書だ。本にはふりがながふられ、漢字や仮名で書かれているので、漢文と比べて親しみやすいことも人気の理由だった。

こうした広がりの中で、「日本人独自の『論語』の解釈」が出てくる。「中国古典を一度自分の内部に取り込み、咀嚼して新たな解釈を加えた点が非常に面白い」（青木准教授）。江戸時代の儒学者、伊藤仁斎は『論語』を「最上至極宇宙第一の書」と言い切った。荻生徂徠は「朱子学は人情の自然を抑圧する」と批判的な見方を示した。それぞれが思考を止めず、新しい解釈を加えていった。

1 日本人と『論語』の歴史とは？

『論語』は中国・春秋時代の思想家・孔子（紀元前551年？～紀元前479年）とその弟子たちの言行を記録した書物だ。奈良時代に編纂された『古事記』、『日本書紀』の両方に、『論語』の記述がある。左記。

石本教授は「日本で初めての『本』として登場したのが『論語』だったという点に注目してほしい」と解説する。『古事記』によれば、『論語』は朝鮮半島の百濟から和辻吉師によって応神天皇に献上され、日本にもたらされた。応神天皇は王子の教育のために『論語』を用い、『論語』は特別の書だった」（石本教授）。

聖徳太子（厩戸王）が制定した「十七条憲法」の第一条「和をもって貴しとなす」も『論語』の教えに基

又科賜百濟國「若有賢人者、貢上。」故、受命以貢上人、名和邇吉師、即論語十卷、千字文一卷、并十一卷、付是人即貢進。

又百濟の國に、「若し賢しき人有らば貢上れ。」と科せ賜ひき。故、命を受けて貢上れる人、名は和邇吉師。即ち論語十卷、千字文一卷、并せて十一卷を是の人につけて即ち貢進りき

（古事記中巻 應神天皇条より）

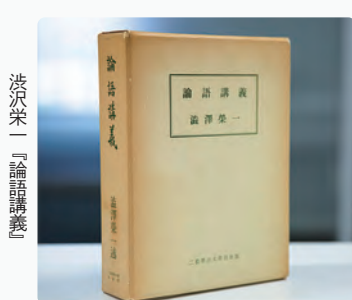
3 渋沢栄一はなぜ『論語』を掲げたのか

話はいよいよ、渋沢栄一と『論語』の関わりに入る。日本の資本主義の制度設計に携わり、「近代日本経済の父」と言われる渋沢がなぜ『論語』を掲げたのか。青木准教授はこう解説する。「渋沢は『実行の人』、つまり現実主義者だった。実学について書かれている『論語』と親和性が高かった」。

これから人生を歩む若者に、渋沢自身の人生から見つけ出したものを伝えたいという気持ちがあったのだ。『世間では學校出身者も實際には左程の價値なしという人あれども。余はさうは思はぬ。學校の課程を順序よく修めて居る人は、（略）すべて仕事に秩序的な所があつて、能率がよく學がると思ふ。（略）學問は一種の経験で、経験は又一種の學問である」（『論語講義』から）

実業家としての側面がクローズアップされることが多い渋沢だが、生涯をかけて「道德経済合」を追い求めた。私利私欲ではなく、公益を追求する「道德」と、利潤を求める「経済」が事業において両立しなければならぬという考えだ。その道德の根本とすべきとした書物が『論語』だった。

「更に望むらくは、世の青年諸君は後日の紳士爲政者たるべき人なれば、己身の爲めにも國家の爲めにも、道德を基調とせられたし」（『論語講義』から）



「民無信不立（民、信無くんば立たず）」（『論語』顔淵篇） 仕事上の取引から友人関係まで全てに通じる『論語』の教えは、コロナ禍でコミュニケーションが取りにくくなった今、ますますその重みを増している。

用語解説

- ※1 十七条憲法 聖徳太子によって推古天皇12（604）年に成立したとされる。第一条は、『論語』学而篇「有子曰 禮之用和爲貴（有子曰はく、礼の用は和を貴しと爲す）」が典拠である
- ※2 四書五経 四書とは『大学』『論語』『孟子』『中庸]、五経は『易経』『書経』『詩経』『礼記』『春秋左氏伝]を指す
- ※3 藩校 江戸幕府は儒学の振興を図り幕府直轄学校として「昌平坂学問所」を開設した。全国に広がり、江戸後期から幕末にかけて、藩士とその子弟の教育機関が各藩に設置された。主に漢学（四書五経を中心とする儒学）を学ぶ学問所と、武芸の稽古を行う武道館が併設され、文武両道が奨励された。会津松平家の日新館、長州毛利家の明倫館などがある

※『論語』の引用、訓読は、石本道明、青木洋司共著『論語 朱熹の本文訳と別解』（明徳出版社、2017）に拠った

詳細は本学HP「国学院大学メディア」に掲載



湯島聖堂大成殿
公益財団法人斯文会提供

インフォダイジェスト

 … 在学生
  … 保護者
  … 卒業生
  … 一般
  … 受験生
 内容
  日にち
  時間
  場所
  対象
  申し込み
  料金
  問い合わせ

大学からのお知らせ

若木育成会の支援を受け 学食で「生活応援キャンペーン」を実施中

因在学生の保護者らで組織する若木育成会の支援を受け、渋谷・たまプラーザ両キャンパスの学食で一部メニューが100円引きとなる「生活応援キャンペーン」を実施しています。対象は本学学生。期間は前期授業期間中です（利用数により早期終了の場合あり）。
 ※学食利用の際は、感染防止のため手指の消毒や会話を控えるなどの対策にご協力をお願いします

キャリアサポート

※詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡから行って下さい

第1回進路電話調査

因4年生を対象に、進路状況に関する電話調査を実施します。希望進路（一般企業・公務員・教職・神社関係・進学）に関わらず、「現在の進路状況」の報告をお願いします。現状を把握することで、支援内容・企画の充実に繋がっていきます。キャリアサポート課からの電話には出ていただくようお願いします。
 ※K-SMAPYⅡから進路状況の登録・更新と、進路決定の報告をお願いします
日 7月5日(月)～7月16日(金)
対 4年生

第2回WEB合同企業説明会

因本学学生の採用意欲が高い企業をお招きして開催する学内合同企業説明会です。本学学生のためだけに各企業の採用担当者が説明する機会にぜひ参加を。※オンライン開催
日 6月30日(水)
申 K-SMAPYⅡで事前申し込み
対 4年生

インターンシップ対策講座 ⑤マナー・インターンシップ参加準備講座

因準備を徹底してインターンシップに臨もう！就職活動において必須条件のビジネスマナーの重要性、敬語、電話対応から会社訪問・面接時の動作などを改めて確認し実践するものです。また、インターンシップ参加に向けた目標設定も実施します。※オンライン配信
日 7月7日(水)
申 K-SMAPYⅡで事前予約
対 3年生

博物館

料 無料
時 原則、水・木・金・土曜日の12時～17時（最終入館16時30分）。短縮開館
 ※博物館関連イベントの問い合わせは ☎03・5466・0359

企画展「ホワッツ神道—神道入門—」

因「神道と神々」「神社と祭り」「現代文化と神道」の3つをテーマに、関係資料を展示・解説します。また、YouTubeに開設しているオンラインミュージアムを利用し、「参拝作法を知る」「御幣を作る」「狩衣を着る」「絵巻を解く」の4企画も実施します。体験型や勉強型など、自宅にしながら企画展を楽しむことができます。
 神道は、仏教とともに伝統的な日本文化の基盤の一つであり、日本の歴史や文化を考える上で重要な要素です。身近ではあっても、なかなか知る機会の少ない神道や神社にまつわる文化について基礎から学んでみませんか。
日 7月7日(水)～9月11日(土)
場 博物館企画展示室

イベント

30

高校生向けコンテスト作品募集

- ①第25回全国高校生創作コンテスト
- 【部門】**
- ▶ 短篇小説の部（1人3篇以内＝1篇4000字以内）
 - ▶ 現代詩の部（1人3篇以内＝1篇45行以内）
 - ▶ 短歌の部（1人3首以内）
 - ▶ 俳句の部（1人3句以内）
- 【表彰】** 最優秀賞（各部門1人、賞状・副賞5万円・記念品）、優秀賞（各部門2人、賞状・副賞3万円・記念品）、佳作（各部門5人、賞状・記念品）、文部科学大臣賞（1校、賞状・副賞5万円相当の図書カード・記念品）
- ②第17回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト
- 【部門】**
- ▶ 地域文化研究部門（祭り・伝統行事・食べもの・方言などの調査研究＝個人・団体）
 - ▶ 地域民話研究部門（昔話・伝説など民話の調査研究＝個人・団体）
 - ▶ 学校活動部門（学校やクラス単位での生徒による調査研究や活動実績に関する報告と、担当教員による活動を通じて生徒の「学び」がどのように向上したかについてのレポートを合わせたもの）
- 【表彰】** 地域文化研究部門・地域民話研究部門：最優秀賞（各部門個人・団体各1作品、賞状・副賞5万円・記念品）、優秀賞（各部門個人・団体各2作品、賞状・副賞3万円・記念品）、佳作（各部門個人・団体各2作品、賞状・記念品）▷学校活動部門：優秀賞2校（賞状・副賞3万円相当の図書カード・記念品）▷折口信夫賞：1作品（賞状・研究費5万円・記念品）
- ③応募について
- 【応募期間】** 7月1日(木)～9月10日(金)必着
- 【応募条件・概要】**
- ▶ 高校生であること
 - ▶ 自作未発表のもの

【応募方法】

各コンテストのホームページ（QRコード）にアクセスしてください。

▶WEB応募
 ホームページにある受付フォームから必要事項を入力して登録してください。作品の提出は、登録後に提出方法をメールでお伝えします。

▶郵送応募
 ホームページから専用の応募用紙を印刷し、必要事項等を記入して応募してください。



第25回
全国高校生
創作コンテスト



第17回
「地域の伝承文化に
学ぶ」コンテスト

【発表】 11月中旬に入賞者に通知、主催者HPでも発表します。

因高校生新聞社コンテスト事務局
 (☎042・724・2750、FAX042・724・2860)
 ※お知らせいただいた個人情報は、主催者において本コンテストの審査、本人および学校への連絡や資料の発送に利用いたします。なお、個人情報を第三者に提供することはありません。応募作品の著作権は、当主催者に帰属し、作品は原則返却いたしません

渋谷区民大学講座「山上憶良、 患者の教え—『万葉集』の一側面—」

因天平時代を生きた知識人、山上憶良の生き方に学び、万葉びとの死生観について取り上げます。『万葉集』にも意外な側面があることについて、受講生の皆さんと考えていきます。講師は上野誠文学部教授（特別専任）。ビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」でオンデマンド（録画）配信。渋谷区民以外の方も受講いただけます。
日 7月15日(木)より配信
料 無料
申 申込専用フォーム（QRコード）から
因 エクステンション事業課 (☎03・5466・0270)



新型コロナ関連のお知らせ

対面授業受講上の留意事項

- 因**キャンパス内での集団感染を防ぐため、次の留意事項に基づいて対面授業を受講してください。
- 基本的な留意事項
- ◇継続的に手洗い、咳エチケットの徹底を
 - ◇手洗い「3密」を避ける取り組みを
 - ◇免疫力を高める十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を
- 具体的な留意事項
- ◇毎朝検温をし、「検温表」へ必要事項の記入を
 - ◇発熱や咳などの風邪症状がみられる場合、同居する家族、身近な知人に感染が疑われる場合は登校を控え、授業は欠席を
 - ◇授業開始時に担当教員から求められた場合、「検温表」への記入を
 - ◇大学構内では必ずマスクの着用を
 - ◇入退館、入退室時には手指消毒の徹底を
 - ◇体温調節のできる服装で登校を
 - ◇教室では着席不可の席には座らない

感染が疑われたら保健室に連絡を

- 因**新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがあると言われた方は、必ず保健室にメールか電話で連絡をしてください。
- ▶保健室アドレス ☐hoken@kokugakuin.ac.jp
 - ▶渋谷TEL（平日・土曜9時～16時30分）
☎03・5466・0148
 - ▶たまプラーザTEL（平日・土曜9時～16時）
☎045・904・7660

「3密」を避けよう



密閉空間

咳エチケット



マスクがあれば
正しく着用する



密接場面



ハンカチや
ティッシュペーパーで
口と鼻を覆う



密集場所



服の袖や肘の内側で
口と鼻を覆う

柔道部 東京学生柔道優勝大会 ベスト16

東京学生柔道優勝大会（東京学生柔道連盟主催）が6月6日、講道館で開催された。本学柔道部は中止となった昨年を除き、6年連続のベスト16で大会を終えた。

大会は7人による団体戦。本学柔道部は初戦で日本大学と対戦。3人目の五将までで1敗2分けの中、続く中堅戦で武岡毅選手（日文4）が技ありで勝利を収め対戦成績で並んだ。三将戦で反則負けを喫すると、副将の西垣拓磨選手（経2）、大将の山本瑛介選手（健体4）が逆転を狙い熱戦を繰り広げたが引き分けに終わり、1勝2敗4分けで敗退した。

団体・個人の成績

蹴球部＝東京都大学サッカーリーグ戦1部に出場している同部は、第10節終了時点で延期となった試合を除く7試合が終了。5勝1敗1分けで1部リーグ全13校中2位に立っている。

ソフトテニス部＝令和3年度春季首都リーグ男子1部が4月11日、国学院大学相模原グラウンドで開催された。6校の総当たり戦で4勝1敗、勝点4で2位となり、昨秋に続く連覇はならなかった。

18日には同会場で女子1部が開催され、優勝をかけた東京経済大学戦も勝利を収め5戦全勝、勝点5で優勝を果たした。

強化部会の主なスケジュール

卓球部＝第90回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部（7月1日(木)～4日(日)・島津アリーナ京都）

陸上競技部

関東インカレ 3選手が入賞

第100回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）が5月20日～23日、相模原ギオンスタジアム（神奈川県相模原市）などで行われた。男子2部に所属する本学からは、3選手が入賞を果たした。

大会初日の20日に行われた男子10000m決勝では、藤木宏太選手（神文4）＝写真右＝が5位入賞（日本人選手3番目）。藤木選手は雨が降るあいにくのコンディションの中、序盤から先頭集団でレースを進めた。中盤で外国人留学生が抜けだした後も、日本人先頭集団で冷静に走り続け、本学記録を更新する28分10秒30をマークした。

同日、よみうりランド内周回コースで行われた男子ハーフマラソン決勝では、中西唯翔選手（健体3）が起伏の激しいコースの中、レース後半で順位を上げる粘りの走りをみせ63分00秒で8位入賞を果たした。

最終日の23日に行われた男子400mハードル決勝では、田川柚紀選手（健体2）が6位入賞。田川選手は前日の予選を自己ベストで通過。決勝では53秒62を記録し、再び自己ベストを更新した。



©月刊陸上競技

先輩に
聴く

絵本づくりで痛感した
失敗を恐れぬ精神の大切さ

天竜浜名湖鉄道 本社総務課 縣健太郎さん（平19卒・115期経ネ）

少子高齢化や過疎化が進む中、観光列車の運行やグッズ販売などの増収策に懸命な全国の地域鉄道事業者。天竜浜名湖鉄道（静岡県浜松市）もそうした1社だ。本社総務課で働く縣健太郎さん（平19卒・115期経ネ）は、沿線を題材にした子ども向けの絵本づくりを提案し、商品化を実現したアイデアマンでもある。地域の子どもたちや親に喜ばれ、併せて沿線をPRする役目を果たし、増収にも結び付けるという「一石三鳥」の効果を引き出している。



（本人提供）

当社が運行する天竜浜名湖線（通称・天浜線）は、市街地を離れると緑豊かな田園風景が車窓に広がる。そうした旅気分を味わえるようにと、当社が国鉄二俣線全線開通80周年を記念し、販売を始めた絵本が『てんはません』だ。

未就学児でも理解できるように平易な文章でつづりながらも、ローカル色を織り交ぜて地域の子どものための興味を高める工夫をした。この絵本づくりは長男誕生に伴って取得した育児休業をきっかけに思い立った。11カ月間の育休期間中、地元の図書館の読み聞かせ講座に積極的に参加したことで、絵本への興味が高まった。職場復帰後の営業企画会議で、新規の増収策として思い切った提案してみたという経緯だ。文章は全て私が書き、絵は地元に住む若手画家の岩本和保さんに依頼した。

販売は予想を上回る形で推移している。何よりうれしかったのは購入した親御さんからの反響だ。2歳ぐらいの子を持つ母親は「1日に何度も読んでくれと子どもにせがまれる」と話してくれた。

今回の取り組みを通じて感じるのは「自分がやりた」と思っていることには、



（本人提供）

あがた・けんたろう

国学院大学経済学部を卒業し、歯科器材商社に入社。9年半ほど勤めた後に天竜浜名湖鉄道に転職。本社総務課に所属し、鉄道事業全般の管理業務を任されている。

絵本『てんはません』は全16ページで、販売価格は税込み880円。掛川駅、新所原駅、天竜二俣駅の売店で販売しているほか、浜松エリアにある書店「谷島屋」、天浜線公式オンラインショップ「てんはまや」でも購入できる。子どもへの読み聞かせにぜひ活用していただければと思っ

（談）

硬式野球部

全国大会 初勝利もベスト8敗退

第70回全日本大学野球選手権記念大会が6月7日から13日まで神宮球場（東京都新宿区）と東京ドーム（東京都文京区）で行われた。東都大学野球連盟代表として初出場を果たした国学院大学硬式野球部は、ベスト8で大会を終えた。優勝は慶応義塾大学（東京六大学野球連盟代表）。

東都王者として10年ぶりの日本一を目指した本学は、2回戦から登場した。9日に東京ドームで行われた富士大学（北東北大学野球連盟代表）戦は、四回にランニング本塁打で2点を失ったが六回、3番・山本ダンテ武蔵選手（経4）のソロ本塁打で1点。続く七回は青木寿修選手（経ネ3）、川村啓真選手（経4）、山本選手の3本の適時打で3点を挙げ逆転に成功した。投げては六回から2番手として登板した楠茂将太投手（法3）が4回無失点で好救援。全国大会初勝利を手にした。

翌日、神宮球場で行われた福岡大学（九州六大学野球連盟代表）との準々決勝は、一回に無死一、三塁から山本選手の併殺打の間に1点を先制。その後は追加点が奪えず、苦しい展開が続いた。投手陣は、坂口翔颯投手（経営1）が初先発。六回途中まで投げて被安打3、7奪三振に抑えた。六回に失策で同点に追いつかれると、そのまま延長タイブレークに。十回表、本学は1死二、三塁から二者凡退し追加点を逃すと、十回裏、失策で決勝点を奪われ日本一への戦いは道半ばで幕を閉じた。

試合後、鳥山泰孝監督は「本来の国学院大学の土台である守備の乱れから失点をしたのが反省点。勝負どころをものにしないと前に進めない。（秋季リーグに向けて）地に足のついた野球をすることが重要」、福永奨主将（健体4）は「勝負どころの一本が出なかった。東都の代表として出場して、応援が力になった。秋に強い国学院を見せられるように練習したい」と話し、次の戦いへ前を向いた。



サヨナラ負けを喫しベンチに引き揚げるナイン（準々決勝）



反撃の口火となる本塁打を放つ山本ダンテ武蔵選手（2回戦）



2試合で登板した楠茂将太投手（準々決勝）

全日本大学野球選手権結果

2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
国学院大	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4
富士大	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

（国）池内・○楠茂一福永（富）●金村・宮下一佐藤（大）

準々決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
国学院大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福岡大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1X	2

※延長10回、10回からタイブレーク
（国）坂口・●楠茂一福永（福）○村上一田中



情報をお寄せください

「部員の人数が足りず、団体戦に参加できない」「人数がそろわなくて演奏ができない」など少人数で困難を抱えながら活動が続ける大学公認部会の情報をお寄せください。今後不定期連載で紹介していきます（紙面の都合などにより紹介できない場合があります）。

【問】広報課（☎kouho@kokugakuin.ac.jp）

運転も整備もチーム一丸



自動車部

昭和32年創部。全日本学生自動車連盟関東支部所属。現在部員は、4年生2人、2年生3人（うち1人は女子学生）。新春の箱根駅伝では卒業生有志と一緒に応援ののぼり、横断幕を沿道に輸送するボランティアを行う。

▶自動車部HP <https://kokugakuac.wixsite.com/kuac117>

自動車を使って運転技術や速さを競うモータースポーツに親しむ学生たちがいる。国学院大学自動車部には男女5人が所属し、本学相模原グラウンドを拠点に活動している。自動車競技の一種、指定のコースでパイロンと呼ばれる目印をすり抜け、タイムを競う「ジムカーナ」や軽自動車の耐久レース出場を目指し、運転技術の向上や、車両の整備を行っている。

機械整備に興味があって入部したという青山友幸主将（神文4）は「ジムカーナの団体戦には、3人以上で出場できる。軽自動車耐久レースでは、ドライバーが交代しながら5、6時間走り続ける。不具合を対処するピット技術も必要でチームの力が問われる競技。リーダーを中心に、ドライバー、車両の整備を担当するメンバーの団結、情報共有が重要になる」と話す。

自動車部は長く部員不在の時代が続いたが、卒業生らが中心となって平成29年に復活。翌年には公式戦に出場し、活動が続いている。ナンバープレートを付けない競技用の車両2台は部で保有。先輩や卒業生が資金を出しあい購入した。通常の活動は月に1、2回、相模原グラウンドで行う車両の整備が中心。レンタルカートなどで運転技術も磨いている。

今年は、10月に行われる大学生の軽自動車耐久レースで完走することが目標だ。青山主将は「レースに出場するには運転や整備に人数が必要。車が好きな人や機械いじりをしてみたい人に加わってもらいたい。入部の時に運転免許を取得していない部員も多い。私も入部後に自動車教習所に通った。大学で新しいことに取り組んでみたい人はぜひ」と1、2年生に呼びかける。